

マイスマールランド

無料
上映会

映画上映会 2023年11月4日(土)

開場 13:15 映画上映 13:30~15:30

【もっと知ろう!タイム】 15:30~16:00

会場 奈良県女性センター 3階 講座室1・2

奈良市東向南町6 (Tel: 0742-27-2300)

【事前申込み】



入場無料・事前申込み制 (先着40名)

<申込方法> メール (右のQRコードを読み取って必要事項を入力ください)

①氏名 ②電話番号もしくはメールアドレス をお知らせください。

<申込・お問合せ> 担当: 浜田敏正 メール: hama310.kira48@gmail.com

☆映画終了後に30分程度、移民・難民問題について理解を深めていただくための企画をご用意しています。ぜひご参加ください。

<あらすじ>

幼い頃から日本で育った17歳のクルド人・サーリャ。

ある日、家族の難民申請が不認定となり、これまでの日常が一変する。

埼玉に住むサーリャは、進学のため父に黙って始めたバイト先で出会った、

東京の高校に通う聡太と自由に会うこともできなくなる……。

ここに居たいと
願うことは
罪ですか？



© 2022 「マイスマールランド」 製作委員会

主催: アムネスティ・インターナショナル日本 奈良グループ

後援: 奈良県教育委員会

AMNESTY
INTERNATIONAL



映画「マイスマールランド」について

日本に住む難民申請中のクルド人の家族に告げられた過酷な現実。在留資格を失い、普通の高校生としての日常が奪われてしまった 17 歳の主人公サーリヤが、理不尽な社会と向き合いながら、自分の居場所を探し、成長していく物語。2022 年度のベルリン国際映画祭／アムネ스티国際映画賞《特別表彰》に輝いた。

主人公サーリヤを、5 カ国のルーツを持ち、ViVi モデルとして活躍する嵐莉菜が演じ、サーリヤが心を開く少年・聡太を注目の俳優・奥平大兼が演じる。是枝裕和監督率いる映像制作集団「分福」の川和田恵真監督の長編デビュー作。『万引き家族』×『ドライブ・マイ・カー』のスタッフが贈る、国境を越え胸に響く感動作

人権から考える外国人の収容問題とは？

2021 年 3 月、スリランカ国籍の女性が名古屋の入管施設で亡くなりました。1997 年から、確認できるだけでも 20 人の外国人が日本の入管施設で亡くなっています。

もっとも多い死因は病死。入管施設では適切な医療が受けられません。次に多いのが自殺。長期収容は、収容されている人の精神をむしばみます。その他、ハンガーストライキによる餓死や、入管職員による暴行致死の疑いがあるケースもありました。

そんな入管施設に収容されているのは、日本の在留資格を失った外国人です。収容された人の 99%は間もなく帰国しているのですが、理由があって帰国できない人たちもいます。

帰国できない理由は、子どもが日本で生まれ育った、自国の迫害から逃げてきた、自国への入国を拒否されているなどさまざま。入管施設は本来、送還するまでの間だけ一時的に収容するための場所です。にもかかわらず、帰国できずに収容されている外国人の約半分は、半年以上の長期に渡って収容されています。

最近ニュースでよく聞く、外国人の収容問題。実は 20 年以上も前からずっと、そこでは人権が守られていないと国連から批判されていました。その背景には、問題だらけの法律とその運用があります。在留資格のない人は全員施設に収容するのが前提で、収容期限に上限はなく、収容に関する決定は、裁判所ではなく入管庁が行っている。

「身体的自由」を無期限に奪う権限を、司法ではなく、行政機関が持っているのです。

人権は、国籍や在留資格で差別されることなく守られるべきもの。入管庁などの国家機関が、好き勝手に自由を奪ってはいけない。これは世界人権宣言をはじめとする世界のルールです。

(アムネ스티日本のHPから引用)

会場

奈良県女性センター

近鉄奈良駅より徒歩 5 分

駐車場・駐輪場はありません。

公共交通機関のご利用をお願いします。

